

感染症情報 4月7日～13日

府下小児科187医療機関(堺市17)から

①感染性胃腸炎	1,561例(堺市	99例)
②溶連菌感染症	251例(堺市	33例)
③RSウイルス感染症	171例(堺市	9例)
④伝染性紅斑	102例(堺市	4例)
⑤突発性発疹	45例(堺市	2例)

府下292医療機関(堺市25)から

インフルエンザ 288例(堺市 11例)

報告数による順位。前週比19.5%増の2,230件。感染性胃腸炎が府下で前週から18%増、堺市で前週125例→今回99例。溶連菌感染症が府下で49%増、堺市で前週22例→今回33例。RSウイルス感染症が府下で9%増、堺市で前週21例→今回9例。伝染性紅斑が府下で65%増、堺市で前週2例→今回4例。

インフルエンザが府下で前週323例→今回288例で11%減。堺市は前週15例→今回11例。定点当たり大阪府は0.99、堺市は0.44であった。

全数把握疾患である百日咳の報告が大阪府で前週41例→今回57例は39%増であった。堺市は1例であった。

府下292医療機関(堺市25)から

新型コロナウイルス感染症 501例(堺市 33例)
大阪府定点 1.72 堺市定点 1.32

新型コロナウイルス感染症の定点報告は、大阪府で前回389例→今回501例で29%増、定点当たり1.31→1.72。堺市で前週53例→今回33例で38%減、定点当たり1.83→1.32であった。

府下293医療機関(堺市25)から

急性呼吸器(ARI)感染症 9,920例(堺市 3,920例)
大阪府定点 33.86 堺市定点 36.80

今回2025年第15週から急性呼吸器感染症の定点報告が始まった。新興感染症の早期把握を目指している。

麻疹の報告が大阪市・中河内ブロックで各1件、合計2件あった。風疹はなかった。